

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-11353(P2003-11353A)

【公開日】平成15年1月15日(2003.1.15)

【出願番号】特願2002-155359(P2002-155359)

【国際特許分類第7版】

B 4 1 J 2/01

B 4 1 M 5/00

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

B 4 1 M 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月24日(2004.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

膨潤性媒体(10)にインクを適用するプリンタの印刷品質を改善する方法であって、膨潤性媒体によるインクの吸収を加速するのに役立つ処理流体を前記膨潤性媒体(10)に適用するステップと、

前記膨潤性媒体(10)にインクを適用するステップと、

を包含し、前記処理流体適用後1分以内に前記膨潤性媒体(10)にインクを適用する、方法。

【請求項2】

前記処理流体が、

極性溶媒と、

湿潤剤又は界面活性剤と、

からなる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記処理流体が、

約8~20%の1,2-ヘキサンジオールと、

約2~5%の1-ブタノールと、

約0.5~2%のTERGITOL 15-S-5と、

約0.5~2%のTERGITOL 15-S-7と、

約71~89%の水と、

を含んでなる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

着色剤とキャリヤーとを含んでなるインクを前記膨潤性媒体(10)へ適用するプリンタの印刷品質を改善する方法であって、

キャリヤーからの着色剤の急速な沈殿を生起させることによりインクと相互作用するよう選択された処理流体を膨潤性媒体(10)に適用するステップと、

前記膨潤性媒体(10)にインクを適用するステップと、

を包含し、前記処理流体適用後1分以内に前記膨潤性媒体にインクを適用する、方法。

【請求項5】

前記着色剤と前記処理流体とが不溶性塩を形成することにより相互作用する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記処理流体が、さらに、乾燥剤を含む、請求項 1 から 5 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

前記処理流体が、ローラー（16）、ワイパー又は噴霧器を使用して適用される、請求項 1 から 6 の何れか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

膨潤性媒体（10）にインクを適用するインクジェットプリンタであって、
処理流体を膨潤性媒体（10）に適用する前処理アプリケーター（12）と、
インクを前記膨潤性媒体（10）に適用するインクジェット（14）と、
からなり、前記処理流体適用後 1 分以内に前記膨潤性媒体に前記インクを適用する、方法
。

【請求項 9】

前記前処理アプリケーター（12）が、ローラー（16）及び流体溜め容器（18）から
なり、前記膨潤性媒体が前記アプリケーター（12）を通過することにより、前記ローラー（16）が前記流体溜め容器（18）からの前記処理流体を前記膨潤性媒体（10）に
適用する、請求項 8 に記載のインクジェットプリンタ。

【請求項 10】

前記膨潤性媒体（10）を加熱する加熱器（20）を前記前処理アプリケーター（12）
に隣接してさらに備える、請求項 8 又は 9 に記載のインクジェットプリンタ。